

パネルディスカッション

コメントや質問は随時slidoで受け付けています。

<https://www.sli.do/jp>

イベントコード「#SPARCJP202002」



パネルディスカッションの構成

1. 「学術情報流通における多様性の障壁」に沿った議論（各10～15分）
2. 質疑応答（最大10分）
 - 講演者への個別質問

パネルディスカッションの構成

“Fostering Bibliodiversity in Scholarly Communications: A Call for Action”で示された「学術情報流通における多様性の障壁」とされた、

- (1) 共通言語としての英語の優位性
- (2) 基盤とサービスの集中
- (3) 限定的資金モデル
- (4) 学術雑誌ベースの評価という偏狭な視点

に沿って議論する。

(1)共通言語としての英語の優位性

- F1000 Researchによる日本語論文・成果の公開
【森本】

(1)共通言語としての英語の優位性

- 坊農先生へ
- RGはresearchmapよりも機能が豊富なようですが、日本国内の研究者どうして情報交換するのにRGをそのまま日本語でお使いになることもありますか？
- （大学教員（工学系））

(2)基盤とサービスの集中

- 研究活動や研究コミュニティからみたプレプリントの意味 【引原】
- 機関リポジトリによるプレプリントの公開 【河合】
- プレプリントと研究者向けのSNS 【坊農】

(2)基盤とサービスの集中

- 河合先生へ

各機関で整備されたリポジトリを一体として見せることができるような基盤が必要とのお話でしたが、IRDBのブランディングや機能追加で、目的を達成できる可能性はありますでしょうか？

(2)基盤とサービスの集中

- 森本先生へ
- F1000Researchはある意味メガジャーナルですね。これをオールジャパンのものとして、日本ゲートウェイとするのはどうなのでしょう。時代とともに、特定分野の学術雑誌に投稿するというところから離れてきているので、そのような形で日本のヴィジビリティ向上もあり得るように感じました。
- (NII船守)

(2)基盤とサービスの集中

- 引原先生へ
- 「プレプリントサーバが乱立しているが置き場所はどこでもよい」と仰ったように記憶しますが、プレプリントサーバの運営が立ち行かなくなったり閉鎖されるなどの問題もあるかと思います。この辺りについてご意見がありましたらお聞かせいただきたいと思います。
- (Anonymous)

(3)限定的資金モデル

- プレプリントに関する出版社の見解 【ブーケ】
- 機関リポジトリによるプレプリントの公開 【河合】

(3)限定的資金モデル

- 森本先生へ
- F1000にて論文投稿の費用、もしくはプラットフォームに関する費用についてはどのような仕組みになっているのでしょうか。
- (Anonymous)

(3)限定的資金モデル

- ブーケ様へ
- 素朴な疑問ですが、プレプリントサーバーの運用費用はどこから出ているのでしょうか。学会やコミュニティの協力があるのでしょうか？プレプリント投稿は無料なので、商業出版社としては、持続的にサーバーを維持・拡大するのは難しいのではないのでしょうか。ジャーナル購読料やAPCに付加されているのではとつい懸念してしまいます。
- (大学図書館)

(4)学術雑誌ベースの評価という偏狭な視点

- 査読論文しか評価しない評価基準を改訂していくべき・何より研究者の意識を変える教育、啓蒙活動を【坊農】
- iMDによる評価【森本】
- プレプリントの評価と信頼性【ブーケ】

(4)学術雑誌ベースの評価という偏狭な視点

- 森本先生へ
- 研究者は査読のある有名学術雑誌の掲載されることに価値をおかれているように思います。F1000投稿への研究者を抵抗感などはないのでしょうか？
- (図書館職員)

(4)学術雑誌ベースの評価という偏狭な視点

- 森本先生へ
- 筑波大学ゲートウェイにiMDを適用した場合、投稿者が筑波大学の研究者に偏るためその数値は比較的低く抑えられるのかと思いますが、人社系の業績評価を今後iMDで行うことになるとすると、筑波大学ゲートウェイへ投稿することは研究者にとってアドバンテージになり得るのでしょうか。
- (Anonymous)